



TITLE:

京都大学外科学教室開講九十周年 記念講演会

AUTHOR(S):

前谷, 俊三; 日笠, 頼則

CITATION:

前谷, 俊三 ...[et al]. 京都大学外科学教室開講九十周年記念講演会. 日本
外科宝函 1989: 2-3

ISSUE DATE:

1989-12-02

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/204416>

RIGHT:

京都大学外科学教室開講九十周年記念講演会

総合司会 助教授 前 谷 俊 三

定刻を過ぎましたので、只今から京都大学外科学教室開講九十周年記念講演会を開催させていただきます。最初に、代表世話人の日笠頼則名誉教授からご挨拶申し上げます。

代表世話人挨拶 名誉教授 日 笠 頼 則

一言ご挨拶申し上げます。京都大学の創立は、明治18年頃からの構想が実を結びまして、明治30年6月18日の勅令第209号によって、自由にして且つ創造的研究を行い、ひいては真の高等教育を施す事を目的として、法、理工、医、文の順に科目別の分科大学の形で京都の地に設置されとの決定をみたのに始まります。

しかし、時あたかも日清戦役後の、急速に工業技術の需要が伸び、ためにそれに対応いたすべきところから、急遽、当初の予定が変更されまして、明治30年にまず理工科大学が、次いで明治32年に法科大学と医科大学とが、そしてそれより遅れること7年、文科大学がそれぞれ創設されるにいたったのであります。

それに伴いまして、医科大学の外科学教室は明治32年7月にその第一講座が設置され、猪子止戈之助教授が同講座を担当いたされたのであります。そして2ヶ月後の同年9月には第二講座も設置され、そこに発足し、伊藤隼三教授の担当となり、先生は翌明治33年7月にご着任になられたのであります。従いまして外科学教室は第一講座も第二講座も共に明治32年に設置されたことになり、本年でめでたく創立九十周年を迎えたということになります。

本日、ここに教室関係者^{あいよ}相寄り、教室創立九十周年記念講演会を催させていただきますことを企画、現在の本邦外科学界にあって活発にご活躍、すばらしい学問のご業績を着々とおあげになっておられます北海道大学第二外科教授田辺達三先生、東京

大学第二外科教授出月康夫先生、九州大学第二外科教授杉町圭蔵先生の御三方の先生に、それぞれ記念講演を賜りたき旨、大変身勝手な、しかもわがままなお願いを申しあげましたところ、御三方の先生にはいずれも年の瀬が迫って参り、非常にお忙しい時期でありますにもかかわらず、早々にご快諾下さり、本日、遠路わざわざ足をお運び願ひ、貴重なご講演を拝聴致させていただきたいとの私共のたつの希望をお叶え願ひ、誠に有難く主催者を代表して心から深謝申し上げる次第でございます。三先生には後程、どうかよろしくお願い申し上げます。

鳥瀉隆三先生は、かつて、ご生前、「人間は品格こそ大切である」と申されておられますが、教室関係者は今後そのお言葉の意味するところを深く理解し、忘れることなく、自らは、自らの生涯をかけて、その向上に努め、励み、また教室の今日ある事にも十分に思いをいたし、教室先達の方々の過去のご労苦、偉大な御学勲の数々に対しまして限りない感謝と敬意を捧げ、これを機に、ますます、関係者は学問的に真の意味で互いに切磋琢磨し、決して感情に溺れるようなことなく、教室の更なる繁栄、発展を期していただくよう切に望み、願ひ、簡単ではございますが、私の挨拶と致させていただきます。